

令和6年度 第1回 庄内学園学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月13日（月） 14時00分～15時30分
- 2 開催場所 庄内学園 会議室
- 3 出席委員 日置宇津広 佐藤眞悟 佐藤和彦 木村裕子 山中千恵子
徳増祐志 山本真哉 後藤いづみ 荻 靖義
宮本優子 徳田義盛
オブザーバー 笹竹厚志（庄内協働センター所長）
- 4 欠席委員 日置 寛
- 5 学 校 石田直美（校長） 今田和幸（教頭） 横山勝之（教頭）
中嶋恵美（主幹教諭） 福島都代（教務主任）
古橋美樹（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 古橋美樹（CSディレクター）
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、日置会長から徳増委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また会長より徳増委員に本年度の運営協議会すべての議長をお願いしたいとの発言があり、全員意義なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）学校運営に必要な支援について
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

11 会議記録

前回会議録、令和5年度協議会自己評価の確認

司会より 前回会議録（資料3）についての報告があった。

日置会長より 協議会自己評価（資料4～6）・本年度取り組みの目標について説明があった。

司会の中嶋より 委員総数12人のうち11人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、石田校長より 学校運営の基本方針について（資料7）、教育重点Ⅴ（ファイブ）2024支援策（資料9）について説明があった。

全員意義なくこれを承認した。

生徒指導主事 神教諭よりいじめ防止基本方針（資料8）について説明があった。

（2）学校運営に必要な支援について

学校運営に必要な支援について熟議を行い 次のような発言があった。

A 日置宇 徳増 佐藤眞 佐藤和 木村

「みんなで学びみんなで遊ぼう」 大運動会は小中一貫校の良さのひとつ
中学生が小学生を応援する、小学生が中学生の真似をする姿が見られるのが良い。

行事の準備に保護者や地域の方が入って支援ができないか。

「庄内未来研究所」 地域の歴史を学ぶ方法として、地域を歩いていると歴史の立て札
が結構ある。それを見つけ学び広げていく。

「学習ボランティアの継続」 形はその都度学校からの希望を聞き変えていく。

朝から、先生には子供への声掛けをお願いしたい。子供の変化に気づくことができ、先生
が見ているという意識からいじめ防止につながるのではないか。

「大草山チャレンジハイク」 先生だけでは大変なので引率などの支援をしたい。

B 中山 山中 後藤

小中一貫校の良さのひとつとして大運動会がよかった。このような行事を増やせば
いい。

「庄内未来研究所」 協働センター祭り等でバザーなど販売のお手伝いができないか。

「アクティブマンデー」の活動で支援できることはないか考えていく。

C 徳田 荻 宮本

「読み聞かせ」は小学生だけでなく中学生にも有効である。心を育てていくのに大切。

「あなたは大事な人だ」と伝えよう は、教職員にも必要である。教職員の関係性は子供
たちにも伝わる。

「庄内未来研究所」 子供たちの発案から、いろいろな専門家との対話や活動ができる
ようにつなげていきたい。

中学生時代に学んだことが大人になって仕事につながっていくこともあるため、いろい
ろな体験をしてもらいたい。

（3）夢育やらまいか事業に対する意見書について

横山教頭より夢育やらまいか事業に対する意見書（資料10）について説明があり、全
員意義なくこれを承認した。

12 その他の報告・連絡事項等

5月23日（木）13：30より防災訓練を実施。以前に意見のあった垂直避難をする予定。
ぜひ参加をお願いしたい 旨の報告があった。

本年度の会議日程について報告があり、次回会議は令和6年7月16日（火）14時から会
議室で開催する旨の報告があった。